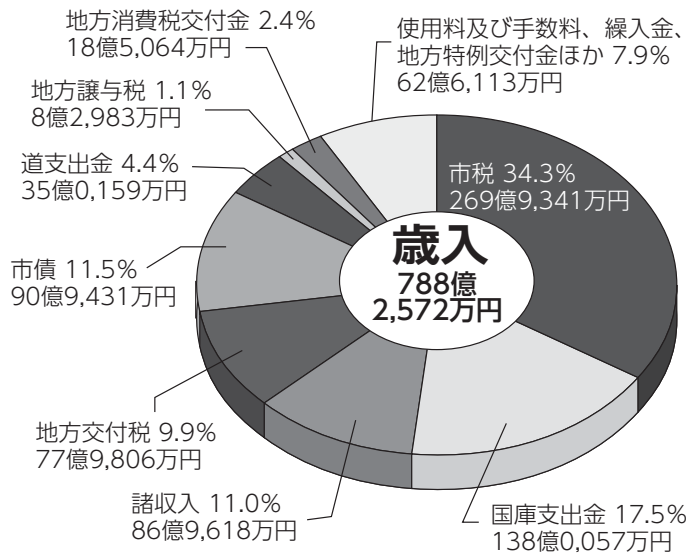


平成24年度 決算状況

【詳細】 財政課 ④(32)6212

平成24年度決算の結果は、財政健全化法に基づく四指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれも早期健全化基準を下回りました。また、資金不足比率においては、すべての会計で資金不足はありませんでした。今後も更なる財政健全化に努めてまいります。

一般会計の決算状況



一般会計は、私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。歳入（年度中の収入）の総額は78億2千572万円で、前年度に比べ74億3千45万円（10.4%）増加しました。歳出（年度中の支出）の総額は78億9千782万円で、前年度に比べ74億8千522万円（10.6%）増加し、差引額6億2千790万円の黒字になりました。これは、歳入の根幹である市税をはじめ、

特別会計の決算状況

■ 国民健康保険事業

加入者がお金を出し合い、病気の時などに医療費を負担し合う制度です。平成24年度決算では、3億9千670万円の黒字となりました。

■ 沼ノ端鉄北土地区画整理事業

保留地の分譲を行っていましたが、平成24年度をもって会計閉鎖しました。これまでの赤字分は、一般会計負担金によって解消しました。

■ 職員退職手当基金

市の各会計が毎年負担し合い、退職金を支給しています。定年や勧奨などによる退職者100人と普通退職者62人に総額26億8千5万円の退職金を支給しました。

■ 霊園事業

霊園の造成、分譲と管理を行っています。平成24年度は、高丘霊園と高丘第二霊園で12区画の分譲を行いました。また高丘霊園の老朽化した階段の改修工事を行いました。

■ 介護保険事業

加入者の保険料と国や道、市の税金を財源として介護サービスを給付

企業会計の決算状況

■ 水道事業

市民の生活用水を供給しています。新設事業では沼ノ端地区等への配水管布設や、ウトナイ小学校に緊急貯水槽の設置、錦多峰浄水場に第3配水池の築造、緊急遮断弁の設置などを行いました。また、改良事業では老朽化した配水管の布設替えや、高丘浄水場緩速ろ過池の改良、錦多峰浄水場の耐震補強工事などを行いました。収益的収支は3億7千332万円の黒字で、消費税と地方消費税を整

特別会計決算一覧

会計名	24年度決算	差引
国民健康保険事業	歳入	186億3,919万円
	歳出	182億4,249万円
沼ノ端鉄北土地区画整理事業	歳入	22億9,671万円
	歳出	22億9,671万円
職員退職手当基金	歳入	26億8,005万円
	歳出	26億8,005万円
霊園事業	歳入	8,064万円
	歳出	8,064万円
介護保険事業	歳入	104億2,810万円
	歳出	104億3,138万円
後期高齢者医療	歳入	17億0,465万円
	歳出	17億0,465万円
計	歳入	358億2,934万円
	歳出	354億3,592万円

しています。平成24年度の決算では、赤字額328万円については平成25年度からの繰上充用金を充てました。

■ 後期高齢者医療

75歳以上の方と、65〜74歳で一定の障がいのある方の医療を国民みんなで支えあう健康保険制度であり、道内市町村が加入する北海道後期高齢者医療広域連合が運営主体となっています。平成24年度の決算は歳入歳出ともに17億465万円でした。

収益的収支は一般会計の繰入金による特別利益を計上した結果、11億3千286万円の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は11億3千306万円でした。

■ 土地造成事業

住宅用地や工業用地の分譲をしています。明野地区、ウトナイ地区、錦西ニュータウンなどを分譲しました。収益的収支は11億2千505万円の黒字でした。

■ 公設地方卸売市場